

活動実績報告書

平成28年12月15日

登録番号 第20160923号

氏名 副島 利博

1. 活動状況

平成27年 4月 ～ 平成28年12月

1. 活動の概要

福岡県では、森林総合監理士等の資質の向上並びに関係者との連携を図り、活発なフォレスター活動を推進し、県内の森林整備・保全・木材産業の活性化に寄与することを目的に、平成27年3月13日に「福岡県フォレスター等連絡協議会」を発足し、会員の情報交換や各種研修会・勉強会等を実施しています。

2. 当該活動を挙げた理由

森林総合監理士が活動を推進していくためには、都道府県職員の森林総合監理士と国有林職員の森林総合監理士が連携して活動することが重要であり、国有林職員の森林総合監理士として、国有林が蓄積してきた施業技術や路網作設技術、木材販売に関する知見や情報を基に、国有林のフィールドを活用した各種研修等を開催するなどの活動を実施していることから、この活動をテーマとして挙げました。

3. 当該活動における、あなたの立場と役割

福岡県フォレスター等連絡協議会に、森林技術指導官として国有林からの会員となっており、現在の協議会の副会長を担当しています。

国有林職員の副会長として、事務局との連絡調整及び各種研修・会議における国有林のフィールドの提供や講師を務めるなどの役割を担っています。

4. 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

福岡県フォレスター等連絡協議会の活動を通して、県と国有林の連携はかなり出来るようになってきましたが、市町村に対しての支援等については、まだまだ十分とは言えない状況にあります。

そのため今後は、森林総合監理士としての能力向上と併せて、市町村森林整備計画策定のための技術的援助等チーム設置が必要であり課題であると考えています。

5. 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

市町村森林整備計画の支援として、東峰村(国有林とのシカ被害対策協定)・福岡市・糸島市をケーススタディ地区として設定し取り組みを進めることとしており、関係する各農林事務所の森林総合監理士との技術的援助チーム設置についても協議を進めています。

しかし、福岡県は林業関係が弱く、市町村の数も多いことから、全ての市町村に対する市町村森林整備計画の支援ができるかが課題であり、ケーススタディ地区を核とした連携をどう進めていくかが重要となってきます。現在、福岡市や糸島市から今後国有林での現地研修等を開催してもらいたいとの意見もあり、その研修等を通じて周辺市町村へ支援を広げるよう、積極的に対応することとしています。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

2. 研修の受講状況

研修名 平成24年度准フォレスター研修 平成24年 7月
(実施主体) 林野庁

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

- 平成27年6月15日 第1回福岡県フォレスター等連絡協議会
- 平成27年6月29日 森林総合監理士育成対策研修会
- 平成27年8月31日 福岡県フォレスター・森林施業プランナー合同研修会
- 平成27年10月15～16日 平成27年度林業普及指導員九州ブロックシンポジウム
- 平成27年11月18～19日 九州フォレスター等活動推進会議
- 平成27年11月27日 民国連携合同研修会
- 平成28年2月25日 平成27年度福岡県林業活性化シンポジウム
- 平成27年2月26日 福岡県林業活性化シンポジウム
- 平成28年3月8～9日 第2回岡山県フォレスター等連絡協議会
- 平成28年7月28～29日 視察研修
- 平成28年11月15日 民国連携合同研修会
- 平成28年11月17～18日 九州フォレスター等活動推進会議
- 平成28年11月30日 平成28年度福岡県林業活性化シンポジウム

注2:2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3:活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4:この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。